

令和3年度より境町立小中学校2学期制へ移行

境町教育委員会学校教育課

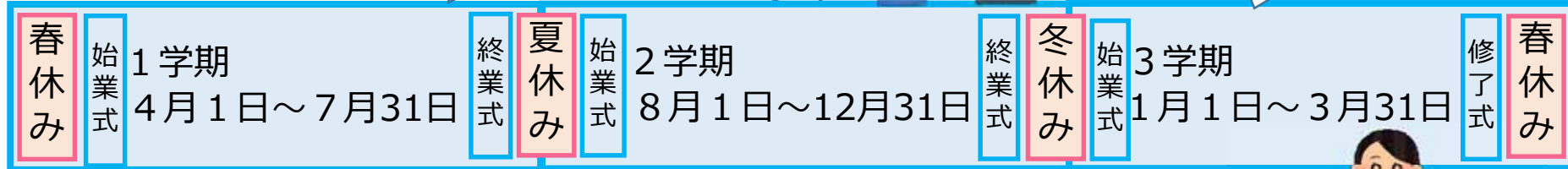


夏休み前や冬休み前は、じっくり授業や教育相談ができない



短い3学期は、がんばりを評価しづらいな

<現行>

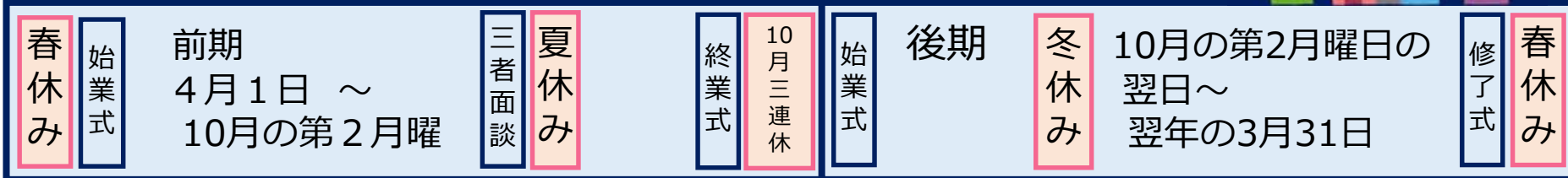


移行

～臨時的2学期制導入措置から見た利点から～



<令和3年度～>



- [移行のねらい]
- 新学習指導要領に基づく授業と評価の充実や、新型コロナウイルス等の感染症、自然災害等に伴う臨時休業への対応ともなる授業時数の確保
 - 学期末における教職員の業務が減ることにより、教職員の働き方改革のねらいとする児童生徒と触れ合える時間の確保

- [期待される効果]
- ・7月、12月において、長期休業直前までじっくりと授業を行えるため、授業時数の確保とともに、学習内容の確実な定着（学力の向上）を図ることができる。
 - ・授業時数の確保によって、コロナ禍や災害等による臨時休業等にも、授業・学校行事等への影響を抑えることができ、児童生徒の安定した学校生活につながる。
 - ・学期がロングスパンになることで、学期内で各単元の完結が図れるなど、学びの連続性につながるとともに、主体的な学習（問題解決型の授業等）をより進めることができる。
 - ・学期末・学期始めが減り学校行事の分散が可能となり、実施時期を見直すことにより、年間を通じて学校生活に落ち着きのあるリズムで、児童生徒はより充実した生活・学習ができる。
 - ・評価期間が長くなり、児童生徒の成長を客観的・総合的に捉えられ適切な評価ができる。
 - ・学期末の業務が減ることで、教職員の平日の残業や休日出勤が減り（働き方改革）、教育相談など児童生徒と向き合えるゆとりが生まれる。

